



いっしょに歩こう！ プロジェクト

日本聖公会東日本大震災被災者支援

News Letter

第 18 号

2013 年 3 月 1 日発行

昨年 10 月、カナダ聖公会からフレッド・ヒルツ首座主教とポール・フィーリー大執事が被災地を訪問されました。短い時間でしたが、仙台オフィスでスタッフとして働く青年たちに出会い、また彼らの案内で新地を訪問されました。被災地訪問の後、お 2 人が語られた言葉をご紹介します。



“ 青年たちの力強い姿。地に足をつけ、献身的に働く聖職、信徒スタッフたち。あれほどの恐怖と被害を受けながらも、おだやかな笑みを絶やさず新地の人々。グレース中曾順子さん。ふじ幼稚園、旧園舎の言い知れない『静寂と沈黙』、そして子どもたちの歓声に包まれた新園舎の『新生と希望』。このコントラストはきわめて鮮烈で、しかし、実に神学的な洞察を与えてくれる。わたしたち、そして世界の人々が、この物語に耳を傾け、そこにある深い意味を知らなければならぬ。

——フレッド・ヒルツ首座主教 ”



“ 帰国後、私は、10 月 21 日の主日礼拝の説教にて、幼稚園教師であり、聖公会の信徒であった中曾順子さんが、園児たちの命を救おうとして、園児たちと共に命を落としたことを語りました。会衆は、身じろぎもせず、涙を流していました。

——ポール・フィーリー大執事 ”

もうすぐ東日本大震災発生から 2 年の日を迎えます。震災からこれまでの様々歩みは、被災地との距離を物ともせず、こんなにも人の心を揺さぶります。2011 年の 3 月 11 日に何が起り、“今”に何をもたらしたのか、今一度見つめる時を迎えているのかもしれない。



“今”の声を聞きました



【アンケート】

プロジェクトが会った一人一人の今

ホームヘルパー2級資格取得支援

在留外国人被災者の新たな生活が
スタートしようとしています

これまでに会った方々の

“今の声”を聞きました



東日本大震災の発生から2年が経過しようとする今、これまで仮設住宅支援、在宅被災者支援、外国人支援、障がい者支援などで会った方々がどんな想いを持って過ごされているのかをご紹介します。ボランティアとして活動しているスタッフにもアンケートに答えてもらいました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

質問1. 震災前と今の、ご自身の内面的な変化について教えてください

仙台市 何気ない**日常の大切さ**を知りました。その上で人とのつながりや絆ということ意識する様になりました。

石巻市 震災以前は住んでいた地域に誇りを持って将来への夢、希望もありました。震災後はこの惨状を見るのが苦しく**逃げ出したい**思いもありますが、反面、自分まで逃げ出したあとの地域がもっと**夢の無い地域にしたい**との思いが出てきました。

釜石市 被災者同士という**不思議な仲間意識**が芽生え、自分自身驚いている。助け合う心が以前はなかったように思います。



仙台市・在留外国人 私は大地震と津波の6か月前に仙台に引っ越してきました。よく知らない土地での体験で、多くの**ストレスと混乱**がありましたが、地震の後、多くの仲間ができました。
I arrived in Sendai 6 months before the great earthquake and tsunami. I didn't know the place well; there was much confusion and stress. A year after the earthquake I met lots of friends.

名取市 日増しに閉上復興計画の樹立が遅れていることへの**あせり**が出てきています。それに伴い私も歳ですから将来への希望が失せていくような気がしています。何か行動自体が投げやりになることを心配していますね。

新地町 **地震の度に不安**になり安定した生活が出来ない。

名取市 震災前は家族6人でいたけど早く自分の家に入って楽しい毎日を来る日をまっています。今は**前進**する様になりました。

気仙沼市 実家と故郷を失った喪失感**は2年経った今も消えません**。ふとした時に思い出します。

気仙沼市 人としてどう生きていくのか？何を残していくのか？をよく考えるようになりました。自分の子どもたちやその後の世代に**何かをのこしてあげたくて**色々な事を学ぶ為に大学に通いはじめました。

新地町 ただ生きているのではなく、**生かされている**と感じるようになった。命の大切さを再認識している。

気仙沼市 家族を亡くし、悲しんでばかりもいられないので今後生きていく上で色々な意味で**強くなっている**。

山元町 子どもが好きで幼稚園の職員になり、大切な子どもを預かっているという気持ちをもっていつも子ども達と接していましたが、震災を経て**命の重さ**や責任の重さを強く感じ自分がこの仕事を続けていいのか、不安な気持ちが大きいです。



多賀城市・在留外国人 震災のため、いつも防災グッズを準備しています。余震が起きると、**子供たちの事を心配します**。

Just because I experience the Tsunami & Earthquake, I always preparing a Bosai goods Just for incase the tsunamis come...

気仙沼市 **精神的**に疲れやすくなった。

釜石市 自分の家でないせいか、パートのあとに家に帰っても**落ち着かない**です。

気仙沼市 実家の流失にともなう基盤がないことの**不安感**ができた。

ボランティア 心の底から幸せ…と思えなくなった。私が生きていて良かったのだろうか。もっと大切な人が、他に居たのではないかと。主は、私に何を望まれておられるのか。思うように動けない自分に、申し訳なく、人の痛みを、辛く苦しく感じるようになった。(東北教区)



ボランティア 祈ること。神様にすがるといふ思いで必死に祈るようになりました。とにかく、祈ることしかできない。神様に救いを求める。祈りは言葉になることもあるし、祈りは行いになることもある。この震災からの復興によって、決して震災前と同じ元の状態に戻ってはいけなく強く感じるようになりました。変わらなくてはならない。少しでもいい方向に。新しい方向に。(東京教区)

ボランティア 実際に被災地に行き、被災者の生の声を聞くことで、いま自分の立場でやるべきことを見直すことが出来ました。祈りを深くするようになりました。(北海道教区)

ボランティア 「死」をより強く意識するようになった。一日一日が大切であり、その積み重ねが未来だが、この国の将来展望が見えにくい。(中部教区)

質問2. 今、どんな希望をお持ちですか

(夢や楽しみなどの“希望”でも、期待や要望の“希望”でも構いません)

気仙沼市 笑顔のあふれる時間を多く持ちたい。

多賀城市・在留外国人 長女が中学校を卒業し、高校へ入学することを楽しみにしています。震災で母子家庭になり、二人の子どもたちの成長が私の希望です。

ang graduation ng anak at pagpasok ng ng koko. then my daughters well grow up a pleasant for me.

名取市 仮設から穏やかな日常を取り戻せること。いまでも夢のような出来事に思えますが閑上の地に行ってみると現実だったのだと受け止めて帰ってきます。

名取市 震災前と同じようにこの仮設からみんなで帰ってこれからの人生を楽しく過ごせたらいいなあと思っています。

仙台市 私たちは必ず震災を乗り越えて行くと思います。是非、乗り越えた姿を見てほしいと思います。

釜石市 1年後にどのような生活になるか期待と不安です。

新地町 現在住んでいる仮設住宅も住み慣れ、皆さんと交流もあってとても楽しいのですが、希望は早く自分の家が欲しいと思っています。

名取市 復興住宅が何年頃できるか楽しみです。一日も早くお願いします。

石巻市 地域の生業の復興と共にこの地域のコミュニティや伝統の再興に楽しみを見い出して活動をする仲間たちとの話し合いに大きな喜びを感じております。

新地町 毎日を楽しく、好きな旅行とかをして暮らしたい。

気仙沼市 自宅へ被害にあった親戚が入れ替わりたちかわり来ています。いままでの生活コミュニティが壊れてしまっている人達に普段通りの生活を取り戻して欲しいです。



仙台市・在留外国人 できればこれからはいろいろなペンギンしたい。ことばだけじゃなくて。

仙台市・在留外国人 せんだいにまだ7か月くらいなんですけど、これからいっぱい日本語を勉強して、しごとをちゃんとしていいせいかつをすごしたいとおもいます。フィリピン人といっしょにいろいろなプロジェクトをして、みなさんにたすかるようにしたいです。



仙台市・在留外国人 働きたいです。東北にいる、フィリピン人やその他の外国人のグループに参加したいです。

I want a job.I want to unite the Filipinos and foreign migrants in tohoku region.

気仙沼市 気仙沼の一日も早い復興。

ボランティア 被災地のお一人お一人の希望される生き方ができるようになれば。(中部教区)

質問3. 震災以降、一番嬉しかったことは何ですか

名取市 同じ町内の人たちと
仮設でサークル活動をしたり
今までになかった事をみんな
でやれたこと。

名取市 **礼拝**に参列できたこと。
クリスマス・イブ礼拝に行けた
こと。様々な事情でこれまでい
けなかったことを思いますと、
私には忘れられない年になりま
した。

名取市 子どもたちの活発な動き
と笑いから勇気と希望をいただ
いたことでした。今では私は
「**笑いが復旧・復興の源点**」
になると考えていますよ。



仙台市・在留外国人 いろんなひと
とあって、**いろんなことをま
なんで**、えいごのべんきょう、
日本語のべんきょうもできてう
れしいです。

名取市 ハーレーにのせていただ
いたり、またミニコンサート、
素晴らしい歌声に感動したり、
数えきれないほどあります。
なんといってもその優しさ、温
かい思いやりの心が一番嬉しく
思いました。

気仙沼市 **子どもの誕生**。震災後
私だけでなく家族全員の励み、
希望となってくれました。また、
遠方の友人たちから物資や励ま
しの言葉が嬉しかったです。



石巻市 **わかめ収穫**できたこと
です。船が出てわかめをいっば
い刈り取って浜に戻って来たとき
本当に嬉しかった…!!あの時の
みんなの笑顔が忘れられません。
あきらめずみんなで頑張っ
てよかったです。

新地町 津波で流されたと思っ
ていた孫が元気だったこと、いつ
も支援者の誰かがそばにいてく
れると思え**一人ぼっちになら
なかった**こと。

釜石市 色紙。将棋連盟会長から
もらいました。**荻野目洋子**から
CDをもらいました。(編集注
※この方は荻野目洋子さんの
長年のファンで、彼女のブログ
を見るために図書館へ行った
時に被災し、命が助かったと話
しているそうです。)

釜石市 **友人**(遠方に住む友人も
含む)との絆が深まった。

新地町 あの**寒い時**に被災した
我々に食事、衣類など差し入れ
ていただいたことが一番嬉しか
った。

山元町 幼稚園が再開でき、子ど
もたちと会い**笑顔が見れた時**
…一生忘れられません。

釜石市 支援センターでたくさん
の方と出逢い、支え支えられて、
励ましあって日々を過ごして
います。辛い気持ちを聞いて
もらい、優しく温かいお言葉を
かけてもらったことなど私の
人生の宝物です。



気仙沼市 **第2子誕生**。

ボランティア 被災地で出会った人
たちが、そこで生きて下さった
こと。「**あなた。生きていてく
れてありがとう**。」と心の中で
密かに思う。「いっしょに歩こ
う!プロジェクト」の活動の中
で、苦しみ、悲しみ、困難の中
にありながら、人から人へ動く
思いや行動の中に、必ずイエス
様がいてくださるという証をそ
ばで体験しました。「主イエス・
キリストの福音」を様々な形で
見たこと。(東京教区)

東日本大震災2周年 記念聖餐式・逝去者記念の祈り 午後2時46分の黙想

2013年3月11日午後1時から、東北教区の「東日本大震災2周年記念聖餐式・逝去者記念の祈り」が行われます。震災により犠牲になった方々、大切な人や場所、物を失った方々を覚えて、祈りを捧げます。お一人お一人どうぞこの日を覚えてください。

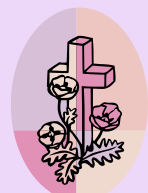
◆場所 郡山聖ペテロ聖パウロ教会(福島県)

◆司式 東北教区主教 ヨハネ 加藤博道

◆主催 日本聖公会東北教区

◆説教 司祭 フランシス 長谷川清純

◆協力 「いっしょに歩こう!プロジェクト」



質問4. その他

(楽しかったこと、面白かったこと、困ったこと、驚いたこと、伝えたいこと何でもご自由に)



新地町 震災後に出会った人たち…こんなことがなかったらきっと出会うことなどなかった**国内外の人たちとの出会い**に驚いています。皆さんの優しさに感謝しています。

仙台市・在留外国人 いちばんのしかったことは JLPT（日本語能力試験）をうけました。やっとにほんにきて、うけました。これからも、にほんにいるあいだに、たのしいこと、つらいことたくさんあるかもしれないですが、**まけないころ**でがんばります。

新地町

夢「ジジババ共和国」建国

釜石市 談話室でいろいろな地区から来た方々と知り合い**今まで知らなかった**市内の事などを知り驚いたりした。年配者が多く、知識も豊富なので勉強になります。

ボランティア 震災1か月が過ぎ、被災地に立ってみて、テレビや新聞との大きな差に驚いた。**360度の悲惨さ**。車で走っても走っても変わらない風景。泥と潮の混じった風の匂い。そこに立って初めて肌で感じました。人の力の小さいことを忘れず、核を自由に操れるという妄想や、大自然を支配できる等々、おごることのないよう、**次の世代に**語りたいです。(東北教区)

石巻市 何もなく着の身着のままの避難生活の中で日本人の心がこんなにも優しく温かい人がたくさん居たことに気付かされたこと。とにかく**どんなものでも有難く**貴重なものであることを改めて認識させられた。

名取市 週1回**買い物に連れていかれるのが楽しい**。食料品、衣類品等見て歩いて、買って、運動にもなるし目の運動にもなるし、みんなとお話もできるので本当に楽しい、面白い。この車もいつまで続いてくれるのか心配です。困ったことは部屋が狭いこと。



気仙沼市 今まで気仙沼を知らなかった人たちが**震災を機に興味**をもってくれたこと。

ボランティア TV 報道では**真の被災地の姿**が伝えられていないと強く感じています。ボランティアを通じて被災者、特に津波で家と家族を失った人たちの焦燥感には心が痛む思いです。この現状を周りに伝えていくことで少しでも復興作業に役立てていきたいと思っています。(東北教区)

ボランティア 磯山の海の月明かりの中で「**夜光虫**」をもう一度**見たい**。波の音を聞きながら礼拝が懐かしく思い出される。
(東北教区)

石巻市 聖公会のボランティアの人達と**一緒にわかめ作業**した事です。いろいろな人たちに出会えて楽しかったです。

気仙沼市 被災した方々との**見えない壁**がまだ続いています。事あるごとに「被害がないじゃない」と言った言葉をしばしば投げかけられている。**心の被災は同じ**なのと思っています。この見えない厚い壁を取り除くことはできないであろう。

釜石市 震災後自衛隊が作って下さった**テントのお風呂**。見知らぬ方とパンを半分ずつにしましょと分け合って食べたパンの味。下履きにバスタオルを頂き**どんな高級なホテルより**も有り難くすてきなお風呂でした。



気仙沼市 たくさんの人のニーズを聞いて、**小さき声**の方々も幸せになりますようにと思います

ボランティア 仮設の方々がすごく明るく、わたしたちが**元気を頂いています**。しかし、床を叩きながら原発問題に対する憤りを表す方もおられ、辛いですね。新地のニワトリに慰められます。また、地元の方々や多くのボランティアの方々との交流が楽しみです。(中部教区)

■気仙沼市（宮城県）／ホームヘルパー 2 級講座

気仙沼の在留外国人を対象にしたホームヘルパー2級資格取得講座の修了式を1月25日に行いました。会場は室根聖ナタナエル教会（岩手県）。資格証書の授与式に、三幸福祉カレッジの方や、日本語を教えてくれていた気仙沼市役所の職員の方もかけつけてくれました。日本語教室では、資格取得のための特別カリキュラムを組んで頂きました。また、座学や実技演習の単位を取得するために、本来ならば三幸福祉カレッジに通わなければならないのですが、対象が被災者だということで、特別に気仙沼市の会場にベッドや簡易トイレなど必要器材を持ち込んで実施して頂きました。このような協力がなければ、到底実現し得なかった資格取得です。感謝です。今回は7名の方が資格を取得し、すでに2名は施設から誘いがきていて資格をもらうことを楽しみに待っていました。



■新地町（福島県）／オルガン復活

磯山聖ヨハネ教会にて活躍していた足踏みオルガンが修理され、礼拝堂に戻ってきました。100年以上前に造られたオルガンで震災前から修理の話がありましたが、予算などの問題で実行できずにいました。しかし、震災の犠牲になった信徒の想いと、津波の被害を受けた地域にも関わらず礼拝堂とオルガンが残されたということを大切に受けとめ、修理をすることにしました。東京教区の信徒の大きな応援もあり、ご自身も被災した宮城県石巻市の勝浦オルガンに修理を依頼。そして1月6日、見事に修理されたオルガンとともに仮礼拝所で主イエスの御降誕を祝うことができました。



■新地町（福島県）／毎月11日の祈り

新地ベースでは、毎月11日に実施する「祈りの巡礼」を大切にしています。損壊して、現在は使用できない磯山聖ヨハネ教会聖堂や、津波で園児や教諭を亡くした「ふじ幼稚園」旧園舎などを、地元の方やボランティアの方と共に訪れて祈りの時をもちます。流された自宅跡をまっすぐに見つめ、祈る方の姿も見うけられます。

活動記録（1/6～2/5）

仮設支援

- 餅つき大会／大曾根仮設（釜石市）
- お料理会／向定内仮設（釜石市）
- 歌う会／甲子B仮設（釜石市）
- ▲買い物バスツアー／箱塚桜団地（名取市）
- ◆ほっとコーナー（お茶会）／広畑仮設など（新地町）
- ◆ほっとシネマ／雁小屋仮設など（新地町）
- ◆指圧マッサージ／作田仮設など（新地町）
- ◆ほっこりカフェ／泉玉露仮設 渡辺町昼野仮設いわき市）

その他にも…新年会、海外から演奏家来訪、仮設訪問、ストラップづくりを楽しむ会、体操教室 など

障がい者支援

- ▲買い上げ支援／仙台市（まどか）
- ▲作業補助／気仙沼市（ひまわり）

外国人支援

- ▲個別支援（子ども学習支援、刊行物の解説、職業安定所などへの付添い、他）／石巻市、多賀城市、仙台市
- ▲英会話教室開講支援／名取市、仙台市
- ▲ホームヘルパー2級資格取得講座／南三陸町
- ▲日本語教室／仙台市
- ▲リフレッシュプログラム／仙台市

その他

- ▲ナザレの家、青葉静修館などの物資整理／仙台市
- ◆東北ヘルプに食品などの放射能計測依頼／仙台市

●岩手県 ▲宮城県 ◆福島県内の活動を示します。
紙面の都合上、掲載されていない活動もあります。
詳細は各ベースのブログをご覧ください。

ホームページ：<http://www.nskk.org/walk/>



いっしょに歩こう！プロジェクトニュースレター第18号 2013年3月1日発行

「いっしょに歩こう！プロジェクト」事務局 OPEN 月～金 10:00～17:00 CLOSE 土・日・祝

〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町3-4-5 クライスビル 2F TEL:022-265-5221 FAX:022-748-5321

E-mail: walk@nsk.org ホームページ: <http://www.nskk.org/walk/>

献金をお捧げ頂く場合はこちらの口座へお願いいたします: ゆうちょ銀行 00120-0-78536 (加入者名 日本聖公会)